

伊丹酒蔵通りにおけるにぎわいの創出と良好な景観形成の
両立を可能とする景観マネジメントの実践

兵庫県伊丹市

○ 商業地における良好な屋外広告物のあり方についての社会実験
・屋外広告物は、通常、景観上は「規制対象」として捉えられるが、商業振興の観点からは重要なマーケティング・プロモーションツールであるため、良好なまちなみ景観形成と、にぎわい創出・商業活性化の両方を充実させる屋外広告物のあり方を模索する。

<p>概要</p>	<p>・伊丹市都市景観条例において「重点的に景観形成を図る区域」として指定している区域の大部分は、中心市街地活性化基本計画の認定区域と重複し、その中でも「伊丹酒蔵通り都市景観形成道路地区」(以下「伊丹酒蔵通り」という)は、JR伊丹駅～阪急伊丹駅を結ぶ中心市街地の真中に位置し、景観上も非常に重要な地区であるが、景観上、屋外広告物のあり方が懸案事項となっていた。 ・同地区には、沿道の店舗や住民等で構成する「伊丹酒蔵通り協議会」がまち灯りの開催などの景観まちづくりに取り組んでおり、平成20年度には官民一体の取り組みが評価され、都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」を受賞。商業活性化とともに良好な景観形成も活動上、重要な要素となっており、同協議会の協力のもと、屋外広告物の社会実験を実施することになった。</p>
<p>実施内容</p>	<p>① ◆第1弾 10月17日 中心市街地活性化イベントと連携した実験 ・通りのイメージに合うようデザインした日除け幕(5ヶ所)と短のれん(4ヶ所)の掲出 ・通りの特徴である白壁を利用し、昔懐かしの写真や伊丹にゆかりのある企業のCM映像を投影 ・伊丹酒蔵通り協議会会員の手作り行灯による灯りの演出</p> <p>② ◆第2弾 12月19日～25日 「伊丹酒蔵通りクリスマスのまち灯り」と同時にのれんを一斉掲出 ・沿道各店舗・事業所等のイメージに合ったのれんデザインを一般公募(応募数159点)し、その中から各店主に選定していただいたデザインでのれんを作成・一斉に掲出(アンケート調査実施) ・看板のリニューアル＝既存看板を撤去し、短のれん&日除け幕を設置 ・平成19年度から3回目の実施となる「伊丹酒蔵通りクリスマスのまち灯り」を開催</p> <p>③ ◆第3弾 2月 まちなみづくりに協力する企業名を掲載したバナー広告物の試験掲出 ・沿道の街路灯18基25枚を掲出 ・江戸時代に酒造業と共に俳諧文化が栄え、芭蕉と比肩するほど活躍した伊丹の俳人・上島鬼貫の俳句をデザイン。まちなみの連続性創出に寄与するとともに「俳句のまち伊丹」をアピール ・バナー等の維持管理費に充てる目的で、まちなみづくりに賛同してくれる沿道企業等に広告を募集。沿道8事業所が賛同し参加</p> <p>④ ◆まとめ 2月2日 伊丹市景観マネジメントフォーラムの開催 ・同事業の取り組みや成果等を報告し、内外へ発信するために、国指定重要文化財である日本最古の酒蔵・旧岡田家住宅を会場にして開催 ・当日は、西村幸夫・東京大学教授に基調講演をいただき、伊丹酒蔵通り協議会の活動報告、協議会メンバーを交えたパネルディスカッションを実施 ・本事業のスポンサーである国土交通省都市・地域整備局公園・緑地景観課担当係長にも参加いただき、貴重なご意見・ご感想をいただいた</p>
<p>取組の成果</p>	<p>・短のれん、のれんは、他の屋外広告物と比較すると際立って主張するものではなく、かつ布地のやわらかな素材感が和の落ち着いたイメージや暖かな印象を与えた。特に短のれんは通りの連続性創出に大きく寄与しており、新たな屋外広告物のあり方の提示が出来たと考える。 ・期間中実施したアンケートでは、のれん等の掲出により「まちなみの印象が良くなった」との回答が約75%あり、また、のれん設置主体者の店舗等へのアンケートでは、約60%の店主が「本事業により来街者が増加した」と回答しており、全体的に良好な景観形成とにぎわいの創出は相反するものではないという、地元店主等の実感につながったと考える。 ・まちなみに不調和な看板の撤去やバナー広告物への広告掲載等からもみられるように、同事業を通して、沿道店舗や住民等の地元への愛着と誇りの深まりを感じることができた。 ・フォーラム等で専門家や外部の方から好評価をいただいたことは、今後の同地区の活動に大きな励みとなった。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>・本事業で実施した屋外広告物のあり方・掲出をいかに継続し、また他地域へ普及させるか(財政面等)。 ・バナー広告は、「俳句のまち伊丹」をアピールしながら、同沿道のにぎわいの創出、景観の連続性・統一性を演出し良好なまちなみ形成に大きく寄与するものとなったが、今後の継続には、法令上の整理(兵庫県屋外広告物条例との整合性)やその運用の仕組み等、協議・整理が必要。 ・伊丹酒蔵通り協議会は主に商店主が中心となり活動している団体であり、店舗経営が優先される中、十分なコミュニケーションをどう確保するか、また店主のみならず積極的に参会できる形態等を検討する必要がある。</p>

今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の成果をもとに、同地区のみならず、他の商業地においても屋外広告物のあり方を検討しガイドラインを作成する等、具体的に事例を示しながら指導・誘導を行う。 ・本事業とともに今年度実施した「屋外広告物実態調査」の結果も含め、今後の本市の屋外広告物のあり方について、独自基準策定等を検討する。 ・助成金(伊丹市要綱)の活用を勧めながら、良好な屋外広告物や景観形成基準を満たす建物の建築等の誘導を図る。 ・平成18年策定の景観計画について、不足点や追加事項等を検証し、計画変更を検討する。
市町村名	伊丹市
部局／担当者名	都市創造部都市企画室都市景観担当 李明熙
連絡先	TEL : 072-784-8068
リンク	http://www.city.itami.lg.jp/home/TOSHISOZO/TOSHIKIKAKU/12842.html

(写真又は図)



取組①「短のれんの設置」 左: 郷町長屋を再現した飲食店舗 右: 景観重要建造物に指定した白雪ブルワリービレッジ長寿蔵



取組① 左: 「酒蔵通り」のロゴを入れたデザインの日除け幕 上: こも樽の上に手作りの行灯



取組① 伊丹ゆかりの企業CM等を上映したまちなかシアター



取組② デザイン公募したのれんの設置



取組② 取組①の日除け幕&短のれんとのれんの設置



取組② 看板のリニューアル 左:リニューアル前 右:下屋看板・テント・電飾置き看板の撤去とのれん等を設置



取組② 伊丹酒蔵通り協議会会員手作りによる「クリスマスのまち灯り」 行灯の切り絵が影となって、白壁に浮かび上がっている



取組③ まちなみ貢献型バナーの設置 デザインは伊丹出身の俳人・上島鬼貫の俳句を掲載